

PATENT

A circular stamp from the Intellectual Property Office (IPO). The text "IPO" is at the top, "JAN 22 2001" is in the center, and "PATENT & TRADEMARK OFFICE" is at the bottom.

•
•
•
•
•
•
•
•
•
•
•
•
•
•

•
•
•

•
•
•

•
•
•
•

•
•
•

 \dot{A}

TRANSMITTAL OF CERTIFIED PRIORITY DOCUMENT

600 13th Street, N.W.
Washington, DC 20005-3096
(202) 756-8000 SAB:klm
Date: January 22, 2001
Facsimile: (202) 756-8087

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

59684-011
59/666,087
9/21/2000
UKIBANA et al.
McDermott, Will & Emery

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

1999年 9月21日

出願番号

Application Number:

平成11年特許願第267258号

出願人

Applicant(s):

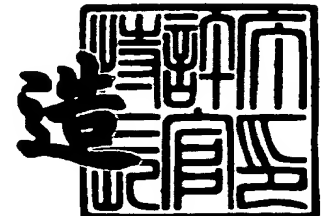
株式会社ジャストシステム



2000年 9月22日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3077482

【書類名】 特許願

【整理番号】 JP00537

【提出日】 平成11年 9月21日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 15/16

【発明者】

【住所又は居所】 徳島県徳島市川内町平石若松 1 0 8 - 4 株式会社ジャストシステム内

【氏名】 浮川 和宣

【発明者】

【住所又は居所】 徳島県徳島市川内町平石若松 1 0 8 - 4 株式会社ジャストシステム内

【氏名】 山下 大樹

【発明者】

【住所又は居所】 徳島県徳島市川内町平石若松 1 0 8 - 4 株式会社ジャストシステム内

【氏名】 山田 亮

【特許出願人】

【識別番号】 390024350

【氏名又は名称】 株式会社ジャストシステム

【代理人】

【識別番号】 100077850

【弁理士】

【氏名又は名称】 芦田 哲仁朗

【代理人】

【識別番号】 100095407

【弁理士】

【氏名又は名称】 木村 満

【選任した代理人】

【識別番号】 100104916

【弁理士】

【氏名又は名称】 古溝 聡

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 038380

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9909500

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワークシステム、インセンティブ提供方法、サーバ装置及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サーバ装置と、前記サーバ装置にネットワークを介して接続された複数の端末装置とを備え、前記複数の端末装置のそれぞれからの要求に応じて前記サーバ装置から前記ネットワークを介して各端末装置に所定のサービスを提供するネットワークシステムであって、

前記サーバ装置は、

前記複数の端末装置のそれぞれから前記ネットワークを介して送信されたサービス提供のための要求を受信する要求受信手段と、

前記要求受信手段が要求を受信した端末装置に前記ネットワークを介して提供すべきサービスに応じた情報を送信する情報送信手段と、

前記要求受信手段が要求を受信した端末装置の少なくとも一部に対して、所定のインセンティブを提供するインセンティブ提供手段と、

前記要求受信手段が要求を受信した端末装置の数を計数する要求数計数手段と

前記要求数計数手段が計数した端末装置の数に応じて、前記インセンティブ提供手段が提供するインセンティブの内容を変更するインセンティブ変更手段とを備え、

前記複数の端末装置はそれぞれ、

前記サーバ装置にサービスを提供させるための要求を前記ネットワークを介して前記サーバ装置に送信する要求送信手段と、

前記情報送信手段から前記ネットワークを介して送信された、提供すべきサービスに応じた情報を受信する情報受信手段とを備える

ことを特徴とするネットワークシステム。

【請求項 2】

前記サーバ装置は、

前記複数の端末装置のうちの所定の端末装置に対して、サービス提供の要求を促すための情報を、提供するインセンティブの内容を示す情報と共に前記ネットワークを介して送信する促進情報送信手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 1 に記載のネットワークシステム。

【請求項 3】

ネットワークを介して提供されるサービスを利用した者の少なくとも一部に対して、所定のインセンティブを提供するネットワークシステムであって、

前記サービスを前記ネットワークを介して利用した者の数を計数する利用者計数手段と、

前記利用者計数手段が計数した利用者の数に応じて、提供するインセンティブの内容を変更するインセンティブ変更手段と

を備えることを特徴とするネットワークシステム。

【請求項 4】

前記サービスの利用が可能な者のうちの所定の者に対して、前記サービスの利用を促すための情報を前記ネットワークを介して提供する利用促進情報提供手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 3 に記載のネットワークシステム。

【請求項 5】

ネットワークを介して提供されるサービスを利用した者の少なくとも一部に対して、所定のインセンティブを提供するインセンティブ提供方法であって、

前記サービスを前記ネットワークを介して利用した者の数を計数する利用者計数ステップと、

前記利用者計数ステップで計数した利用者の数に応じて、提供するインセンティブの内容を変更するインセンティブ変更ステップと

を含むことを特徴とするインセンティブ提供方法。

【請求項 6】

前記サービスの利用が可能な者のうちの所定の者に対して、前記サービスの利用を促すための情報を前記ネットワークを介して提供する利用促進情報提供ステップをさらに含む

ことを特徴とする請求項 5 に記載のインセンティブ提供方法。

【請求項 7】

複数の端末装置とネットワークを介して接続され、各端末装置からの要求に応じて所定のサービスを提供するサーバ装置であって、

サービス提供の要求をした端末装置の少なくとも一部に対して、所定のインセンティブを提供するインセンティブ提供手段と、

サービス提供の要求をした端末装置の数を計数する要求数計数手段と、

前記要求数計数手段が計数した端末装置の数に応じて、前記インセンティブ提供手段が提供するインセンティブの内容を変更するインセンティブ変更手段とを備えることを特徴とするサーバ装置。

【請求項 8】

前記要求数計数手段は、これまでにサービス提供の要求をしたことのない端末装置からの要求があった場合に、サービス提供の要求をした端末装置の数として計数する手段を備える

ことを特徴とする請求項 7 に記載のサーバ装置。

【請求項 9】

前記インセンティブ変更手段は、前記要求数計数手段が計数した端末装置の数が一定数に達したときに、提供するインセンティブの内容を変更する

ことを特徴とする請求項 7 または 8 に記載のサーバ装置。

【請求項 10】

前記インセンティブ変更手段がインセンティブの内容を変更する場合の端末装置の数と前記要求数計数手段が計数した端末装置の数との関係を視覚的に示す情報を、サービス提供の要求をした端末装置に前記ネットワークを介して送信する視覚情報送信手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 9 に記載のサーバ装置。

【請求項 11】

前記複数の端末装置のうちの所定の端末装置に対して、サービス提供の要求を促すための情報を、提供するインセンティブの内容を示す情報と共に前記ネットワークを介して送信する促進情報送信手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 7 乃至 9 のいずれか 1 項に記載のサーバ装置。

【請求項 1 2】

前記促進情報送信手段は、前記複数の端末装置の少なくとも一部の宛先情報を記憶する宛先情報記憶手段を有し、該宛先情報記憶手段に記憶された宛先情報に従ってサービス提供の要求を促すための情報を前記ネットワークを介して送信する

ことを特徴とする請求項 1 1 に記載のサーバ装置。

【請求項 1 3】

前記宛先情報記憶手段は、所定の基準に従って宛先情報をグループ分けして記憶しており、

前記促進情報送信手段は、前記インセンティブ提供手段が提供するインセンティブの内容に応じたいずれかのグループに属する宛先情報に従ってサービス提供の要求を促すための情報を送信する

ことを特徴とする請求項 1 2 に記載のサーバ装置。

【請求項 1 4】

前記促進情報送信手段は、既にサービス提供の要求をした端末装置から前記ネットワークを介して送信されてきた他の端末装置の宛先情報を受信する宛先情報受信手段を有し、該宛先情報受信手段が受信した宛先情報に従ってサービス提供の要求を促すための情報を前記ネットワークを介して送信する

ことを特徴とする請求項 1 1 乃至 1 3 に記載のサーバ装置。

【請求項 1 5】

ネットワークを介して複数の端末装置と接続され、各端末装置からの要求に応じて所定のサービスを提供するコンピュータ装置を、

サービス提供の要求をした端末装置の少なくとも一部に対して、所定のインセンティブを提供するインセンティブ提供手段、

サービス提供の要求をした端末装置の数を計数する要求数計数手段、及び

前記要求数計数手段が計数した端末装置の数に応じて、前記インセンティブ提供手段が提供するインセンティブの内容を変更するインセンティブ変更手段

として機能させるためのプログラムを記録することを特徴とするコンピュータ

読み取り可能な記録媒体。

【請求項 1 6】

前記複数の端末装置のうちの所定の端末装置に対して、サービス提供の要求を促すための情報を、提供するインセンティブの内容を示す情報と共に前記ネットワークを介して送信する促進情報送信手段

として前記コンピュータ装置を機能させるためのプログラムをさらに記録することを特徴とする請求項 1 5 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークサービスの利用者にインセンティブを提供するネットワークシステム、インセンティブ提供方法、サーバ装置、及びそのプログラムを記録した記録媒体に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

WWW (World Wide Web) 上では、様々なホームページが公開され、多数の情報が提供されている。このようなホームページを公開するサイトのうちで、商用サイトは、ホームページ上に広告を掲載するか、或いは情報の提供そのものを有料とするかで収入を得ているものが多い。ここで、ホームページを閲覧した者の数によって広告料が決まるものがある。また、情報量そのものではなく、情報の提供を受ける者を単位として、有料情報の料金を徴収するものがある。従って、商用サイトを運用するためには、より多くの端末装置へ情報を提供すること、すなわち情報提供サービスの利用者の数を多くすることが望ましい。

【0 0 0 3】

このような情報提供サービスにおいて、その利用者を獲得するために、情報提供サービスを利用した者に賞金や賞品をプレゼントするといったインセンティブを提供しているものがある。また、従来より、所定の集団に所属する会員にメールを送信したり、利用者を獲得するために、他のホームページにリンクを貼ったりするようなことが盛んに行われている。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来、情報提供サービスを利用した者に与えるインセンティブの内容は情報提供者の側で一方的に選定していたため、インセンティブの内容に興味がない者はその情報提供サービスを利用する意欲がわかなかった。このため、情報提供サービスを受けることによって与えられるインセンティブを用意しても、それによって情報提供者が獲得することができる利用者の数がそれほど増加しないという問題があった。

【 0 0 0 5 】

また、従来の新規利用者の獲得のための仕組みでは、他の所定のサービスを利用する者しか新規利用者として獲得できず、情報提供サービスを利用した者が他の者を勧誘する、いわゆる口コミ型での利用者獲得の仕組みは提供されていなかった。さらに、従来提供されていたインセンティブの内容では、結局のところ一部の者しかその恩恵を受けることができなかった。

【 0 0 0 6 】

本発明は、サービス利用者の数を効率的に増やすことを可能とするネットワークシステム、インセンティブ提供方法、サーバ装置、及びこのサーバ装置を実現するプログラムを記録した記録媒体を提供することを目的とする。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の第 1 の観点にかかるネットワークシステムは、

サーバ装置と、前記サーバ装置にネットワークを介して接続された複数の端末装置とを備え、前記複数の端末装置のそれぞれからの要求に応じて前記サーバ装置から前記ネットワークを介して各端末装置に所定のサービスを提供するネットワークシステムであって、

前記サーバ装置は、

前記複数の端末装置のそれぞれから前記ネットワークを介して送信されたサービス提供のための要求を受信する要求受信手段と、

前記要求受信手段が要求を受信した端末装置に前記ネットワークを介して提供すべきサービスに応じた情報を送信する情報送信手段と、

前記要求受信手段が要求を受信した端末装置の少なくとも一部に対して、所定のインセンティブを提供するインセンティブ提供手段と、

前記要求受信手段が要求を受信した端末装置の数を計数する要求数計数手段と

、
前記要求数計数手段が計数した端末装置の数に応じて、前記インセンティブ提供手段が提供するインセンティブの内容を変更するインセンティブ変更手段とを備え、

前記複数の端末装置はそれぞれ、

前記サーバ装置にサービスを提供させるための要求を前記ネットワークを介して前記サーバ装置に送信する要求送信手段と、

前記情報送信手段から前記ネットワークを介して送信された、提供すべきサービスに応じた情報を受信する情報受信手段とを備える

ことを特徴とする。

【 0 0 0 8 】

上記のネットワークシステムでは、サービスの利用者の数に応じて提供するインセンティブの内容を変更している。このインセンティブの内容の変更が、各端末装置のユーザにとってサービスを利用することの魅力となり、サービスの利用を促進させるものとなる。これにより、ネットワークを通じて提供されるサービスの利用者の数を効率的に増やすことができる。

【 0 0 0 9 】

上記ネットワークシステムにおいて、前記サーバ装置は、前記複数の端末装置のうちの所定の端末装置に対して、サービス提供の要求を促すための情報を、提供するインセンティブの内容を示す情報と共に前記ネットワークを介して送信する促進情報送信手段をさらに備えるものとすることができる。

【 0 0 1 0 】

このようにサービスの利用を促すための情報を提供する仕組みを設けることによって、サービスの利用者の数をさらに効率的に増やすことができる。

【 0 0 1 1 】

上記目的を達成するため、本発明の第 2 の観点にかかるネットワークシステムは、

ネットワークを介して提供されるサービスを利用した者の少なくとも一部に対して、所定のインセンティブを提供するネットワークシステムであって、

前記サービスを前記ネットワークを介して利用した者の数を計数する利用者計数手段と、

前記利用者計数手段が計数した利用者の数に応じて、提供するインセンティブの内容を変更するインセンティブ変更手段と

を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

上記ネットワークシステムは、前記サービスの利用が可能な者のうちの所定の者に対して、前記サービスの利用を促すための情報を前記ネットワークを介して提供する利用促進情報提供手段をさらに備えるものとすることができる。

【 0 0 1 3 】

上記目的を達成するため、本発明の第 3 の観点にかかるインセンティブ提供方法は、

ネットワークを介して提供されるサービスを利用した者の少なくとも一部に対して、所定のインセンティブを提供するインセンティブ提供方法であって、

前記サービスを前記ネットワークを介して利用した者の数を計数する利用者計数ステップと、

前記利用者計数ステップで計数した利用者の数に応じて、提供するインセンティブの内容を変更するインセンティブ変更ステップと

を含むことを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

上記インセンティブ提供方法は、前記サービスの利用が可能な者のうちの所定の者に対して、前記サービスの利用を促すための情報を前記ネットワークを介して提供する利用促進情報提供ステップをさらに含むものとすることができる。

【 0 0 1 5 】

上記目的を達成するため、本発明の第 4 の観点にかかるサーバ装置は、複数の端末装置とネットワークを介して接続され、各端末装置からの要求に応じて所定のサービスを提供するサーバ装置であって、

サービス提供の要求をした端末装置の少なくとも一部に対して、所定のインセンティブを提供するインセンティブ提供手段と、

サービス提供の要求をした端末装置の数を計数する要求数計数手段と、

前記要求数計数手段が計数した端末装置の数に応じて、前記インセンティブ提供手段が提供するインセンティブの内容を変更するインセンティブ変更手段とを備えることを特徴とする。

【0016】

上記のサーバ装置では、提供しているサービスの利用者の数に応じて、サービス利用者に提供するインセンティブの内容を変更している。このインセンティブの内容の変更が、各端末装置のユーザにとってサービスを利用することの魅力となり、サービスの利用を促進させるものとなる。これにより、ネットワークを通じて提供されるサービスの利用者の数を効率的に増やすことができる。

【0017】

上記サーバ装置において、前記要求数計数手段は、これまでにサービス提供の要求をしたことのない端末装置からの要求があった場合に、サービス提供の要求をした端末装置の数として計数する手段を備えるものとすることができる。

【0018】

上記サーバ装置において、前記インセンティブ変更手段は、前記要求数計数手段が計数した端末装置の数が一定数に達したときに、提供するインセンティブの内容を変更するものとすることができる。

【0019】

この場合において、上記サーバ装置は、前記インセンティブ変更手段がインセンティブの内容を変更する場合の端末装置の数と前記要求計数手段が計数した端末装置の数との関係を視覚的に示す情報を、前記要求受信手段が要求を受信した端末装置に前記ネットワークを介して送信する視覚情報送信手段をさらに備えるものとすることができる。

【 0 0 2 0 】

このように、インセンティブ変更手段がインセンティブの内容を変更する場合の端末装置の数と要求数計数手段が計数した端末装置の数との関係を視覚的に示す情報が各端末装置に送信され、各端末装置から出力されることにより、各端末装置のユーザから他の者へのサービス利用の勧誘をより効果的に促すことが可能となる。

【 0 0 2 1 】

また、上記サーバ装置は、前記複数の端末装置のうちの所定の端末装置に対して、サービス提供の要求を促すための情報を、提供するインセンティブの内容を示す情報と共に前記ネットワークを介して送信する促進情報送信手段をさらに備えるものとすることができる。

【 0 0 2 2 】

このようにサービスの利用を促すための情報を提供する仕組みを設けることによって、サービスの利用者の数をさらに効率的に増やすことができる。

【 0 0 2 3 】

ここで、前記促進情報送信手段は、前記複数の端末装置の少なくとも一部の宛先情報を記憶する宛先情報記憶手段を有し、該宛先情報記憶手段に記憶された宛先情報に従ってサービス提供の要求を促すための情報を前記ネットワークを介して送信するものとしてもよい。

【 0 0 2 4 】

この場合、前記宛先情報記憶手段は、所定の基準に従って宛先情報をグループ分けして記憶するものであってもよい。そして、前記促進情報送信手段は、前記インセンティブ提供手段が提供するインセンティブの内容に応じたいずれかのグループに属する宛先情報に従ってサービス提供の要求を促すための情報を送信するものとすることができる。

【 0 0 2 5 】

前記促進情報送信手段は、既にサービス提供の要求をした端末装置から前記ネットワークを介して送信されてきた他の端末装置の宛先情報を受信する宛先情報受信手段を有し、該宛先情報受信手段が受信した宛先情報に従ってサービス提供

の要求を促すための情報を前記ネットワークを介して送信するものとしてもよい。

【0026】

特に促進情報送信手段をこのようにして構成した場合には、口コミでのサービス利用者の獲得が可能となる。これにより、さらに効率的にサービスの利用者の数を増やすことが可能となる。

【0027】

上記目的を達成するため、本発明の第5の観点にかかるコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、

ネットワークを介して複数の端末装置と接続され、各端末装置からの要求に応じて情報を提供するコンピュータ装置を、

サービス提供の要求をした端末装置の少なくとも一部に対して、所定のインセンティブを提供するインセンティブ提供手段、

サービス提供の要求をした端末装置の数を計数する要求数計数手段、及び前記要求数計数手段が計数した端末装置の数に応じて、前記インセンティブ提供手段が提供するインセンティブの内容を変更するインセンティブ変更手段として機能させるためのプログラムを記録することを特徴とする。

【0028】

上記コンピュータ読み取り可能な記録媒体は、前記複数の端末装置のうちの所定の端末装置に対して、サービス提供の要求を促すための情報を、提供するインセンティブの内容を示す情報と共に前記ネットワークを介して送信する促進情報送信手段として前記コンピュータ装置を機能させるためのプログラムをさらに記録するものであってもよい。

【0029】

【発明の実施の形態】

以下、添付図面を参照して、本発明の実施の形態について説明する。

【0030】

図1は、この実施の形態に適用されるネットワークシステムの構成を示すブロック図である。図示するように、このネットワークシステムは、サーバ装置1と

、サーバ装置 1 にインターネット 3 を介して接続された複数の端末装置 2 1 ~ 2 n とを備える。

【0031】

サーバ装置 1 は、CPU、メモリ、通信装置などを備える汎用コンピュータによって構成され、情報発信部 1 1、ログイン処理部 1 2、ユーザ記憶部 1 3、メールアドレス抽出部 1 4、メール発送部 1 5 及び通信処理部 1 6 の各機能を備える。各部 1 1 ~ 1 6 の機能を実現するためのプログラムは、例えば、記録媒体（図示せず）に格納されて提供され、媒体駆動装置（図示せず）によってメモリに記憶されるか、他のコンピュータ装置（図示せず）からインターネット 3 を介して送信され、メモリに記憶される。

【0032】

情報発信部 1 1 は、ログインしてきた端末装置 2 1 ~ 2 n の数に応じてインセンティブを付した情報を生成し、通信処理部 1 6 に送信させる。情報発信部 1 1 が発信する情報に付されるインセンティブとして、例えば、当該情報で提供するクイズのサービスの利用人数、すなわちクイズの参加人数が一定数に達する毎に、優勝者に対して与えられる賞金額をアップしていく等が挙げられる。情報発信部 1 1 は、ログインしてきた端末装置 2 1 ~ 2 n の数をカウントする手段を含む。

【0033】

情報発信部 1 1 が発信する情報は、ログインしてきた端末装置 2 1 ~ 2 n の数と、インセンティブのランクがアップする点との関係を表示するグラフを含む。情報発信部 1 1 が発信する情報は、後述するようにメール発送部 1 5 が友達紹介として他の端末装置へメールを送信するためのメールアドレスを端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザに入力させ、サーバ装置 1 に返送させるための情報を含む。

【0034】

ログイン処理部 1 2 は、端末装置 2 1 ~ 2 n から情報発信部 1 1 が発信する情報へのログインが要求されたときに、その情報へのログイン処理を行う。このログイン処理では、ログイン処理部 1 2 は、端末装置 2 1 ~ 2 n の ID 番号などを基としてユーザ記憶部 1 3 を参照し、当該端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザが過去に

ログインしているかどうかを判別する。過去にログインしていれば、そのまま当該端末装置 21～2n を情報発信部 11 が発信する情報にただログインさせるだけであるが、過去にログインしていないときは、当該端末装置 21～2n の ID 番号やメールアドレスなどをユーザ記憶部 13 に記憶すると共に、新規ユーザによるログインであることを示す情報を情報発信部 11 に送って、当該端末装置 21～2n を情報発信部 11 が発信する情報にログインさせる。

【0035】

ユーザ記憶部 13 は、情報発信部 11 が発信する情報にログインした端末装置 21～2n に関する ID 番号やメールアドレスを記憶する。ユーザ記憶部 13 へ記憶されたメールアドレスは、当該情報の発信が終了しても、次の情報を発信する際にメールを送付するためのメーリングリストとして使用される。

【0036】

メールアドレス抽出部 14 は、ログインしている端末装置 21～2n から送られてきた情報のうちから、後述する友達紹介によって送られてきたメールアドレスを抽出する。メール発送部 15 は、メールアドレス抽出部 14 が抽出したメールアドレスに対して、所定のフォーマットに従ってメールを作成し、通信処理部 16 に送信させる。メール発送部 15 は、また、情報の発信を開始するのに先立って、過去に発信していた情報についてユーザ記憶部 13 に記憶されているメールアドレスに対して、所定のフォーマットに従ってメールを作成し、通信処理部 16 に送信させる。

【0037】

通信処理部 16 は、情報発信部 11 が生成した情報、及びメール発送部 15 が生成したメールをインターネット 3 を介して端末装置 21～2n に送信する。通信処理部 16 は、また、端末装置 21～2n からインターネット 3 を介して送信されてきたログインを要求する情報を受信し、ログイン処理部 12 に渡す。通信処理部 16 は、また、情報発信部 11 が発信する情報にログインしている端末装置 21～2n からインターネット 3 を介して送信されてきた情報を受信する。

【0038】

端末装置 21～2n は、それぞれプロセッサ、メモリ、入力装置、表示装置及

び通信装置などを備える汎用のコンピュータから構成され、サーバ装置 1 から送信された情報（メールを含む）を受信し、表示装置に表示する。また、端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザは、後述する友達紹介を行おうとする場合には、本人及び友達の名前、メールアドレスを入力装置から入力し、端末装置 2 1 ~ 2 n は、これをインターネット 3 を介してサーバ装置 1 に送信する。

【0039】

以下、この実施の形態にかかるネットワークシステムにおける動作について説明する。最初に、サーバ装置 1 の情報発信部 1 1 が発信する情報の提供を受けるために端末装置 2 1 ~ 2 n が実行する処理について説明する。

【0040】

端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザは、情報発信部 1 1 が発信する情報の提供を受けようとするときに、例えば、入力装置を操作して URL (Uniform Resource Locator) を入力したり、後述する促進メール等におけるハイパーリンクのクリックにより、サーバ装置 1 から情報のフロントページの送信を受ける。そして、フロントページに含まれる“ログイン”を示すボタンをクリックする。これにより、ログインの要求がサーバ装置 1 に送られ、後述するサーバ装置 1 における処理によって情報発信部 1 1 が発信する情報を受信することができる。

【0041】

端末装置 2 1 ~ 2 n は、情報発信部 1 1 が発信した情報を受信すると、それを表示装置上に表示させる。受信した情報には、友達紹介用のページも含まれている。友達紹介用のページは、サーバ装置 1 から他の端末装置 2 1 ~ 2 n にも情報発信部 1 1 が発信する情報の提供を受けるように勧めるメールを送信させるために設けられている。端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザは、友達紹介用のページに友達（他の端末装置 2 1 ~ 2 n）のメールアドレスや自己のメールアドレス等を入力してサーバ装置 1 に返送することができる。

【0042】

次に、サーバ装置 1 における処理を説明する。図 2 は、インセンティブを付した情報を端末装置 2 1 ~ 2 n に提供するために、主として情報発信部 1 1 とログイン処理部 1 2 とが実行する処理を示すフローチャートである。

【0043】

サーバ装置 1 の運用が開始されると、ログイン処理部 1 2 は、通信処理部 1 6 によるログイン要求の受信を監視し、端末装置 2 1 ~ 2 n から情報発信部 1 1 の発信する情報へログインが要求されたかどうかを判別する（ステップ S 1 0 1）。ログインが要求されていないと判別したときは、ログイン処理部 1 2 は、ステップ S 1 0 1 の処理を繰り返し、通信処理部 1 6 によるログイン要求の受信を監視し続ける。

【0044】

ログインが要求されたと判別したときは、ログイン処理部 1 2 は、例えば、ログインを要求した端末装置 2 1 ~ 2 n の ID 番号がユーザ記憶部 1 3 に登録されているかどうかを確認することにより、当該ログインの要求が新規のユーザからなされたものであるかどうかを判別する（ステップ S 1 0 2）。当該ログインの要求が新規のユーザからなされたものである場合には、ログイン処理部 1 2 は、当該ログインを要求した端末装置 2 1 ~ 2 n の ID 番号等をユーザ記憶部 1 3 に新規登録する（ステップ S 1 0 3）。

【0045】

次に、ログイン処理部 1 2 は、新規ユーザによるログインであることを示す情報と共に、ログイン要求があったことを情報発信部 1 1 に通知する。情報発信部 1 1 は、新規ユーザによるログインであることを示す情報を受け取ると、内部のカウント手段により、これまでにログインしてきたユーザの数、すなわち端末装置 2 1 ~ 2 n の数をカウントアップする（ステップ S 1 0 4）。情報発信部 1 1 は、カウント手段のカウントしたユーザ数が、発信する情報に付されるインセンティブの内容を変更する人数に達したかどうかを判別する（ステップ S 1 0 5）。

【0046】

カウントしたユーザ数がインセンティブの内容を変更する人数に達していない場合には、情報発信部 1 1 は、発信する情報中のログインしたユーザ数に関する情報（前述したグラフを含む）のみを変更して、新たな情報を作成する（ステップ S 1 0 6）。そして、ステップ S 1 0 8 の処理に進む。

【0047】

一方、カウントしたユーザ数がインセンティブの内容を変更する人数に達した場合には、情報発信部11は、ログインしたユーザ数に関する情報のみならず、発信する情報に付するインセンティブの内容までを変更して、新たな情報を作成する（ステップS107）。そして、ステップS108の処理に進む。

【0048】

ステップS108では、情報発信部11は、ステップS106またはS107で作成した情報を、通信処理部16からインターネット3を介して現在ログインしているすべての端末装置21～2n（ステップS101でログインを要求した端末装置を含む）に送信させる。そして、ステップS101の処理に戻り、再びログイン処理部12にログイン要求の受信を監視させる。

【0049】

一方、ステップS102でログインの要求が新規のユーザからなされたものでない、すなわち過去に情報発信部11が提供する情報へログインしたことのあるユーザからなされたものであると判別した場合は、ログイン処理部12は、ログイン要求があったことを情報発信部11に通知する。情報発信部11は、この通知に基づいて、現在用意されている情報を、通信処理部16からインターネット3を介して当該ログインを要求した端末装置21～2nに送信させる（ステップS109）。そして、ステップS101の処理に戻り、再びログイン処理部12にログイン要求の受信を監視させる。

【0050】

また、このネットワークシステムでは、より多くの端末装置21～2nが情報発信部11が発信する情報によるサービスの提供を受けるように、それを促すためのメール（以下、促進メールという）を端末装置21～2nに送信している。図3は、促進メールの送信のために、メール発送部15が実行する処理を示すフローチャートである。ここでは、（a）サーバ装置1から情報の発信を開始した初期時、（b）サーバ装置1の通常の運用時、の2つについてそれぞれ説明する。

【0051】

まず、サーバ装置 1 から情報の発信を開始した初期時においては、図 3 (a) に示すように、メール発送部 1 5 は、過去に同様にして発信した情報の提供を受けたことでユーザ記憶部 1 3 に記憶された端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザ、すなわち同様のサービスの提供を以前に受けたことのあるユーザのメールアドレスを順番に読み出す (ステップ S 2 0 1)。メール発送部 1 5 は、まだ読み出されていないメールアドレスをユーザ記憶部 1 3 から読み出すことができたかどうかを判別する (ステップ S 2 0 2)。

【0 0 5 2】

メールアドレスを読み出すことができた場合には、メール発送部 1 5 は、読み出したメールアドレスを宛先として、情報発信部 1 1 から発信する情報に応じた所定のフォーマットに従って促進メールを作成する (ステップ S 2 0 3)。メール発送部 1 5 は、さらに作成したメールを通信処理部 1 6 からインターネット 3 を介して当該メールアドレスが示す端末装置 2 1 ~ 2 n に送信する (ステップ S 2 0 4)。

【0 0 5 3】

そして、ステップ S 2 0 1 の処理に戻り、メール発送部 1 5 は、次のメールアドレスをユーザ記憶部 1 3 から読み出す。一方、ステップ S 2 0 2 において、まだ読み出されていないメールアドレスをユーザ記憶部 1 3 から読み出すことができなかったと判別した場合には、メール発送部 1 5 は、このフローチャートの処理を終了する。

【0 0 5 4】

また、サーバ装置 1 の通常の運用時においては、図 3 (b) に示すように、メール発送部 1 5 は、メールアドレス抽出部 1 4 を監視し、友達紹介によって送られてきたメールアドレスを抽出したかどうかを判別する (ステップ S 2 5 1)。メールアドレスの抽出がなかったと判別した場合は、メール発送部 1 5 は、ステップ S 2 5 1 の処理を繰り返し、メールアドレス抽出部 1 4 の監視を続ける。

【0 0 5 5】

一方、メールアドレス抽出部 1 4 の監視の結果、メールアドレスが抽出されたと判別した場合は、メールアドレス抽出部 1 5 は、抽出されたメールアドレスを

宛先として、情報発信部 1 1 から発信する情報に応じた所定のフォーマットに従って促進メールを作成する（ステップ S 2 5 2）。この際、促進メールを作成するためのフォーマットは、これまでにログインしてきた端末装置 2 1 ~ 2 n の数や現段階で提供するインセンティブの内容に応じて変更してもよい。

【 0 0 5 6 】

メール発送部 1 5 は、さらに作成したメールを通信処理部 1 6 からインターネット 3 を介して当該メールアドレスが示す端末装置 2 1 ~ 2 n に送信する（ステップ S 2 5 3）。そして、ステップ S 2 5 1 の処理に戻り、メール発送部 1 5 は、さらにメールアドレス抽出部 1 4 の監視を続ける。

【 0 0 5 7 】

以下、この実施の形態にかかるネットワークシステムにおける動作を、具体例に基づいて説明する。ここでは、情報発信部 1 1 が発信する情報としてクイズのサービスを提供する。そして、このクイズの参加者の数に応じてインセンティブとして提供される優勝賞金の額が増加する。

【 0 0 5 8 】

図 4（a）、（b）は、情報発信部 1 1 が発信する情報の例を示す図である。図 4（a）に示すように、クイズの優勝賞金は、初期の状態では 1 0, 0 0 0 円となっているが、参加者が 1, 0 0 0 人になると 5 0, 0 0 0 円、2, 0 0 0 人になると 1 0 0, 0 0 0 円、1 0, 0 0 0 人になると 1, 0 0 0, 0 0 0 円になることを示している。

【 0 0 5 9 】

図 4（a）の状態では、参加者の数は 8 5 0 人であり、情報発信部 1 1 が発信する情報では、優勝賞金が 1 0, 0 0 0 円であることを示している。また、参加者が増加するに従って優勝賞金が増加することを示している。また、図の下方にあるように、次に賞金額がアップするまでに必要な参加者の数が 1 5 0 人であること、また、次に賞金額がアップするまでの参加者 1, 0 0 0 人に対して現在の参加者数が 8 5 0 人であるという比率をグラフで視覚的に示している。

【 0 0 6 0 】

図 4（a）の状態から参加者が増えていき、1, 0 0 0 人になったときの状態

を図4（b）に示す。図4（b）では、優勝賞金が50,000円であることと、参加者数が増加するに従って優勝賞金が増加することを示している。しかし、初期状態の優勝賞金に戻ることはないので、このことは示されていない。また、図の下方にあるように、次に賞金額がアップするまでに必要な参加者の数が1,000人であること、また、次に賞金額がアップするまでの参加者2,000人に対して現在の参加者数が1,000人であるという比率をグラフで視覚的に示している。

【0061】

次に、サーバ装置1の通常の運用時において、友達紹介により、情報発信部11が発信する情報の提供を受けるように促進する例を、図5（a）、（b）を参照して説明する。友達紹介のために、情報発信部11が発信する情報は、図5（a）に示すような友達紹介用のページを含んでいる。端末装置21～2nのユーザは、この友達紹介用のページを表示装置に表示させ、友達及び自身の名前及びメールアドレスを入力する。そして、“送信”のボタンをクリックすると、入力された友達及び参加者自身の名前及びメールアドレスがサーバ装置1に送られる。

【0062】

サーバ装置1では、メールアドレス抽出部14は、端末装置21～2nからインターネット3を介して送信され、通信処理部16が受け取った種々の情報から、友達紹介用のページに従って送られてきた友達及び参加者の名前及びメールアドレスを抽出する。メールアドレス抽出部14は、抽出した友達及び参加者の名前及びメールアドレスをメール発送部15に渡す。

【0063】

メール発送部15は、例えば、図5（b）に示すフォーマットに、メールアドレス抽出部14から渡された友達の名前、参加者の名前及びメールアドレスを挿入した促進メールを生成する。そして、メールアドレス抽出部14から渡された友達のメールアドレスを宛先として、通信処理部16からこの促進メールを送信する。

【0064】

この促進メールを受け取った端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザ（上記の友達）は、メールの中で提供されるインセンティブが示されているので、その参加を促される。しかも、紹介者（上記の参加者）も表示されているため、口コミの形でより強く参加を促されることとなる。また、図 5（b）の下方に示す URL には、リンクが貼られている。従って、このユーザは、このメールに含まれる URL をクリックすることで、クイズに容易に参加することができる。

【 0 0 6 5 】

以上説明したように、この実施の形態にかかるネットワークシステムでは、情報発信部 1 1 は、新たな端末装置 2 1 ~ 2 n からログインがある度に、その数をカウントしている。そして、カウントした数が一定数に達する毎に、発信する情報に付して提供するインセンティブの内容を変更している。このインセンティブの内容の変更が、端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザにとって情報発信部 1 1 が発信する情報の提供を受けることの魅力となり、サービスの利用を促進させるものとなる。これにより、情報発信部 1 1 が発信した情報を受信する者の数を効率的に増やすことができる。

【 0 0 6 6 】

また、情報発信部 1 1 が発信する情報は、ログインしてきた端末装置 2 1 ~ 2 n の数と、インセンティブのランクがアップする点との関係を表示するグラフを含んでいる。このグラフが端末装置 2 1 ~ 2 n の表示装置に表示されることにより、端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザが他の者へ情報の提供を受けるように促すことがより効果的にできるようになる。これにより、情報発信部 1 1 が発信した情報を受信する者の数をさらに効率的に増やすことができる。

【 0 0 6 7 】

また、メール発送部 1 5 は、サーバ装置 1 から情報の発信を開始した初期時、及びサーバ装置 1 の通常の運用時のいずれにおいても促進メールを端末装置 2 1 ~ 2 n に発送しており、端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザが情報の提供を受けるように促している。これにより、情報発信部 1 1 が発信した情報を受信する者の数をさらに効率的に増やすことができる。

【 0 0 6 8 】

特に、サーバ装置 1 の通常の運用時においてメール發送部 1 5 が發送する促進メールは、既に情報發信部 1 1 が發信している情報の提供を受けている者から送られてきたメールアドレスを宛先としている。このため、情報提供者の側で一方向的に用意した宛先だけでなく、口コミの形で促進メールが端末装置 2 1 ~ 2 n に送信されることとなる。これにより、情報發信部 1 1 が發信した情報を受信する者の数をさらに効率的に増やすことができる。

【 0 0 6 9 】

本発明は、上記の実施の形態に限られず、種々の変形、応用が可能である。以下、本発明に適用可能な上記の実施の形態の変形態様について説明する。

【 0 0 7 0 】

上記の実施の形態では、ログイン処理部 1 2 は、ユーザ記憶部 1 3 を参照して過去のログイン実績をチェックし、過去にログインしていないと判別したときに、その旨の情報を情報發信部 1 1 に通知することで、情報發信部 1 1 がログインした端末装置 2 1 ~ 2 n の数をカウントしていた。これに対して、同一の端末装置 2 1 ~ 2 n からのログインの要求であっても、その要求がある度にログインした端末装置 2 1 ~ 2 n の数としてカウントを行うものとしてもよい。

【 0 0 7 1 】

上記の実施の形態では、情報發信部 1 1 が發信する情報としてクイズのサービスを提供し、このクイズの優勝者への賞金を与えることをインセンティブの内容としていた。しかしながら、本発明において發信した情報の受信者、すなわちサービス利用者が受けるインセンティブの内容はこれに限るものではない。例えば、人数を集めることで各サービス利用者に達成感を与えるもの（例えば、有名アーティストのコンサートの実現）をインセンティブの内容にしてもよい。

【 0 0 7 2 】

また、情報發信部 1 1 が發信する情報にログインした端末装置 2 1 ~ 2 n のユーザに、複数種類用意したインセンティブの中から所望のインセンティブを選択させてもよい。この場合、インセンティブ毎にカウントを行ってその内容を変更しても、ログインした端末装置 2 1 ~ 2 n の数全体でカウントを行って各インセンティブの内容を変更してもよい。

【 0 0 7 3 】

上記の実施の形態では、情報発信部 1 1 が発信する情報にログインした端末装置 2 1 ~ 2 n の数が一定数に達することにより、その情報に付して提供するインセンティブの内容を変更するものとしていた。すなわち、インセンティブの内容は段階的に変更されていた。しかしながら、例えば、情報発信部 1 1 が発信する情報にログインした端末装置 2 1 ~ 2 n の数に対して所定の演算を行って求めた結果を賞金額とするなど、情報発信部 1 1 が発信する情報にログインした端末装置 2 1 ~ 2 n の数に対してインセンティブの内容を連続的に変更するものとしてもよい。

【 0 0 7 4 】

上記の実施の形態では、情報発信部 1 1 が発信する情報に付して提供するインセンティブには、特に上限を設定していなかった。これに対して、提供するインセンティブに上限を付することにより、景表法などによる規制を守るように設定することができる。この場合、インセンティブの内容をこのような規制をクリアできる内容として作成する方法もあるが、種々の規制の内容をデータベースに蓄積しておいて、規制の内容を意識せずに作成されたインセンティブを、実際に提供する前にデータベースと比較してもよい。

【 0 0 7 5 】

上記の実施の形態では、サーバ装置 1 から情報の発信を開始した初期時において、メール発送部 1 5 は、過去に同様の情報発信でユーザ記憶部 1 3 に記憶されたメールアドレスを宛先として、促進メールを送信するものとしていた。しかしながら、メール発送部 1 5 は、例えば、サーバ装置 1 を運用するインターネットプロバイダとの契約者を登録したデータベースに記憶されているメールアドレスを宛先として、促進メールを送信するものとしてもよい。

【 0 0 7 6 】

この場合において、データベースに記憶されているメールアドレスを所定の基準（例えば、契約者の性別、年齢などの属性、或いはインセンティブの選択履歴やクイズ、アンケートの回答履歴などのユーザの嗜好）によって幾つかのグループに分けておいてもよい。そして、メール発送部 1 5 は、情報発信部 1 1 が発信

する情報の内容或いはこれに付して提供するインセンティブの内容に応じたいずれかのグループに属するメールアドレスを宛先として、促進メールを送信するものとしてもよい。

【0077】

上記の実施の形態では、サーバ装置1の通常の運用時において情報の受信者、すなわちサービス利用者を募る仕組みとして、メール発送部15は、既に情報を受信しているものから送られたメールアドレスに対して情報発信部11が発信する情報の受信を促す促進メールを送信していた。しかしながら、サーバ装置1の通常の運用時において情報の受信者、すなわちサービス利用者を募る仕組みは、これに限るものではなく、例えば、掲示板などを利用してよく、サービスの参加を促す内容を有し、且つ他人への転送を依頼するメールを既にサービスを利用している者に送付してもよい。

【0078】

上記の実施の形態では、サーバ装置1と端末装置21～2nとがインターネット3を介して接続されたシステムを例としていた。しかしながら、本発明は、クローズドな商用ネットワークを介してサーバ装置と端末装置とが接続されたものに適用してもよい。或いは、携帯電話を端末装置として、基地局を通じて各携帯電話に情報を配信し、種々のサービスを提供するシステムなどにも、本発明は適用することができる。

【0079】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、サービスの利用者の数に応じてインセンティブの内容を変更しているため、これがサービスの利用を促進させるものとなる。これにより、ネットワークを通じて提供されるサービスの利用者の数を効率的に増やすことができる。

【0080】

また、サービスの利用を促すための情報を提供する仕組みを有しているため、サービスの利用者の数を効率的に増やすことができる。特に、既にサービス提供を受けている者から送られた宛先情報に従ってサービスの利用を促すための情報

を提供する仕組みを設けることにより、口コミでのサービス利用者の獲得が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施の形態に適用されるネットワークシステムの構成を示すブロック図である。

【図 2】

主として図 1 の情報発信部とログイン処理部とが実行する処理を示すフローチャートである。

【図 3】

(a)、(b) は、図 1 のメール発送部が実行する処理を示すフローチャートである。

【図 4】

(a)、(b) は、図 1 のサーバ装置から端末装置に提供される情報の例を示す図である。

【図 5】

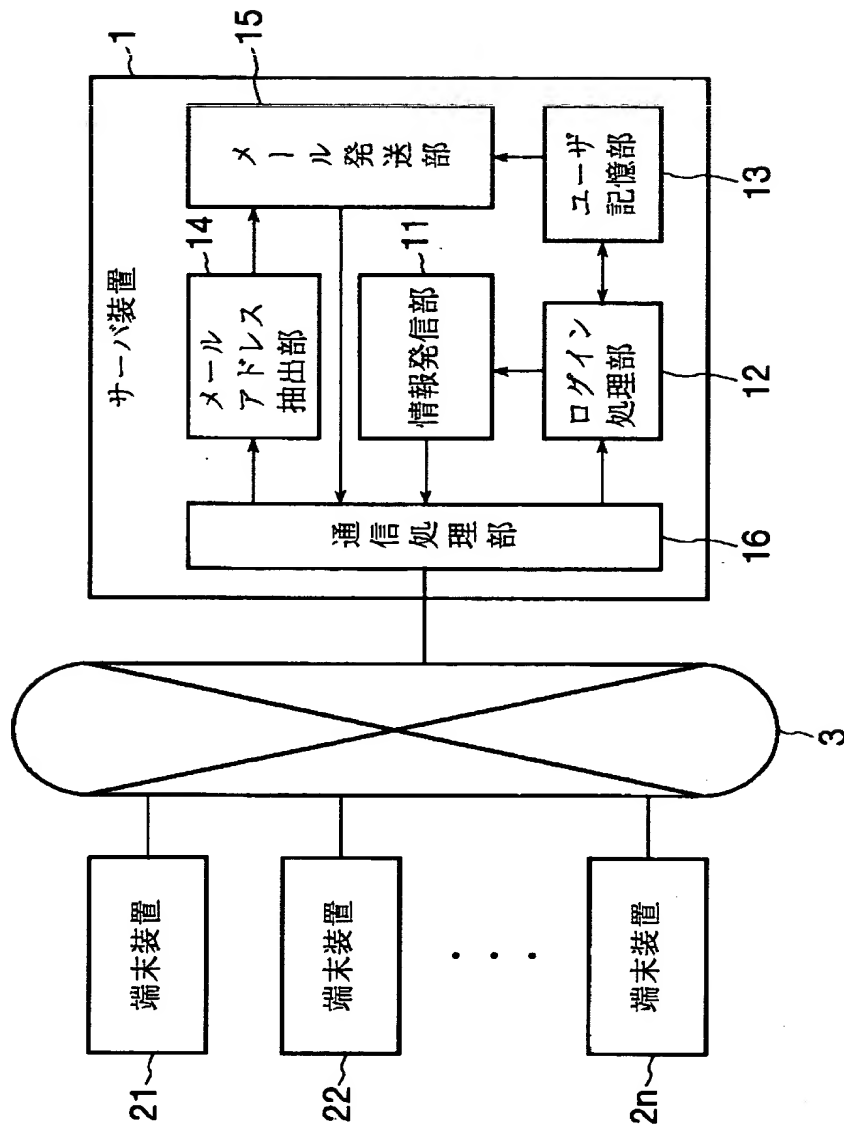
(a) は、図 1 のサーバ装置から端末装置に提供される情報のうちの友達紹介のページの例を示す図、(b) は、図 1 のサーバ装置から端末装置に送られるメールの例を示す図である。

【符号の説明】

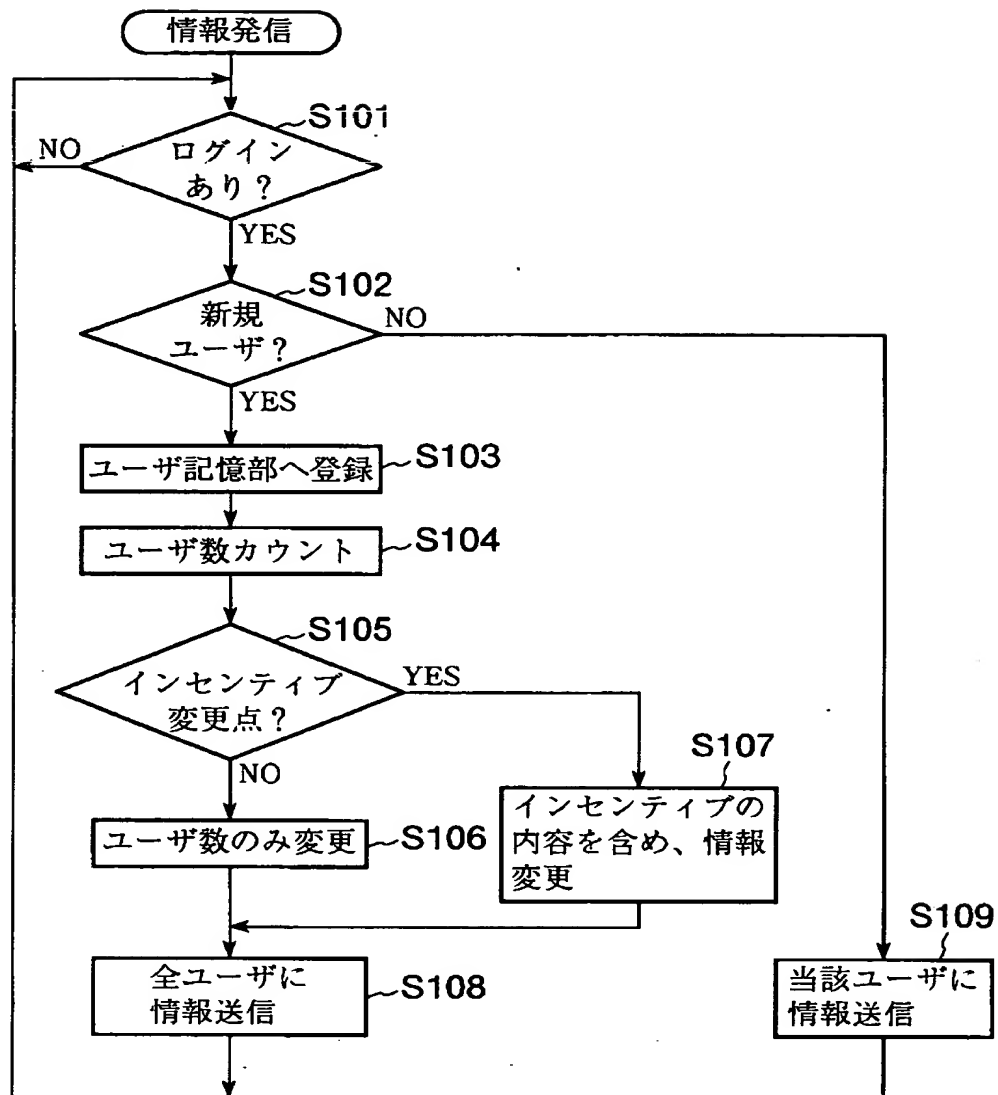
- 1 サーバ装置
 - 1 1 情報発信部
 - 1 2 ログイン処理部
 - 1 3 ユーザ記憶部
 - 1 4 メールアドレス抽出部
 - 1 5 メール発送部
 - 1 6 通信処理部
- 2 1 ～ 2 n 端末装置
- 3 インターネット

【書類名】 図面

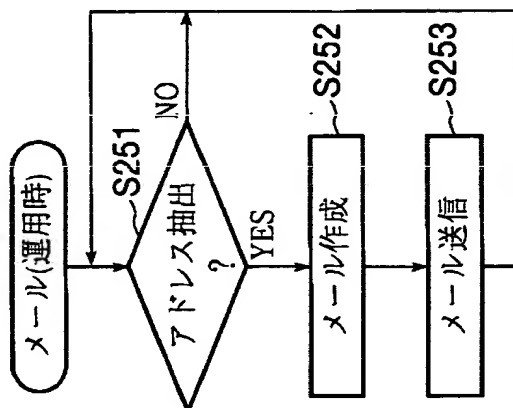
【図 1】



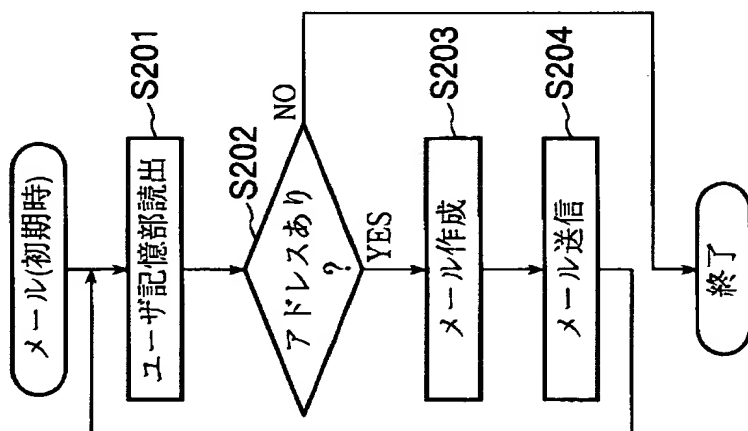
【図 2】



【図 3】



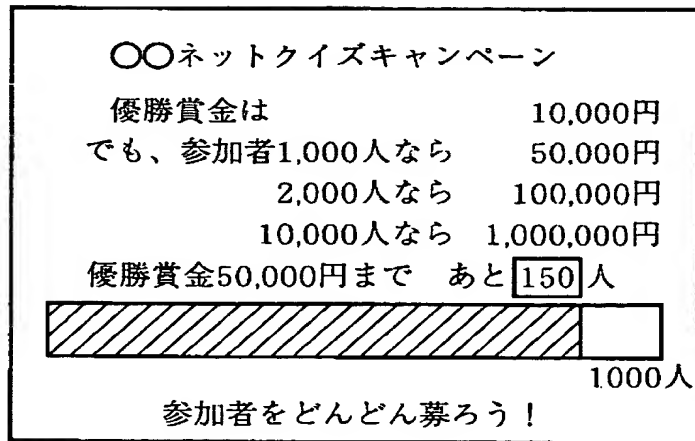
(b)



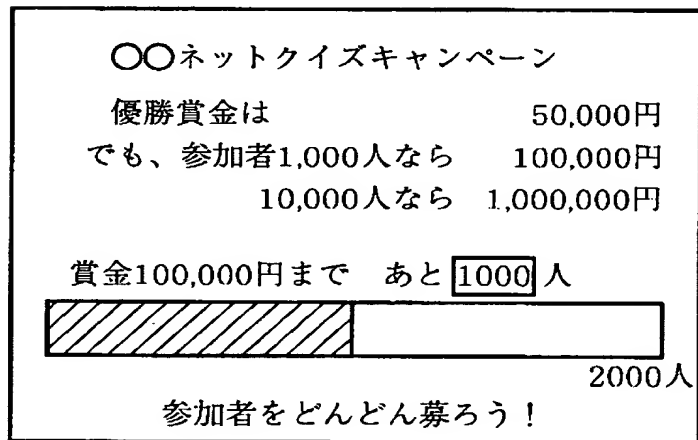
(a)

【図 4】

(a)



(b)



【図5】

(a)

お友達を紹介して下さい。

お友達の
名前 :

アドレス :

あなたの
名前 :

アドレス :

(b)

〇〇ネットです。

××様 (xxx@xxxxxx) より、
△△様をご紹介されました。
当ネットでは、参加者が増え
れば増えるほど、賞金額がUp
するクイズキャンペーンを展開中。

優勝賞金は

通常は	10,000円
参加者1,000人なら	50,000円
2,000人なら	100,000円
10,000人なら	何と1,000,000円

是非、ご参加下さい

クイズキャンペーンへのご参加
は、下記まで、貴方のご参加を
お待ちしております

www.〇〇〇.〇〇〇/〇〇

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 サービスの利用者の数を効率的に増やす。

【解決手段】 情報発信部 1 1 は、ログインしてきた端末装置 2 1 ～ 2 n の数が増えるに従って、提供するインセンティブ（賞金など）を高めた情報を提供する。ログイン処理部 1 2 は、ユーザ記憶部 1 3 を参照し、新たな端末装置 2 1 ～ 2 n のユーザからのログインである場合には、その旨を示す情報を情報発信部 1 1 に渡して、当該端末装置をログインさせる。メール発送部 1 5 は、情報を発信するのに先立って、過去に発信していた情報に関してユーザ記憶部 1 3 に蓄積されていたメールアドレスに対して、新たに発信する情報へのアクセスを勧めるメールを発送する。メール発送部 1 5 は、また、情報発信部 1 1 が発信する情報に含まれる友達紹介のページに従って送信されてきたメールアドレスに対して、所定のフォーマットのメールを生成して、発送する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	平成 11 年 特許願 第 267258 号
受付番号	59900917430
書類名	特許願
担当官	鈴木 夏生 6890
作成日	平成 11 年 10 月 4 日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	390024350
【住所又は居所】	徳島県徳島市沖浜東 3-4 6
【氏名又は名称】	株式会社ジャストシステム

【代理人】

【識別番号】	100077850
【住所又は居所】	東京都千代田区神田錦町 2 丁目 7 番地 協販ビル 7 階 芦田・木村国際特許事務所
【氏名又は名称】	芦田 哲仁朗

【代理人】

【識別番号】	100095407
【住所又は居所】	東京都千代田区神田錦町 2 丁目 7 番地 協販ビル 7 階 芦田・木村国際特許事務所
【氏名又は名称】	木村 満

【選任した代理人】

【識別番号】	100104916
【住所又は居所】	東京都千代田区神田錦町 2 丁目 7 番地 協販ビル 7 階 芦田・木村国際特許事務所
【氏名又は名称】	古溝 聡

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [390024350]

1. 変更年月日 1990年11月20日
[変更理由] 新規登録
住 所 徳島県徳島市沖浜東3-46
氏 名 株式会社ジャストシステム